

## 湘南学園小2年生たちが緑地に

# オタマジャクシやザリガニと触れ合う

藤沢市鵜沼にある私立湘南学園小学校の2年生約90人が6月10日午前、広町緑地を訪れ、オタマジャクシやザリガニ、チョウたちと触れ合う2時間を過ごしました。



10時すぎに着いた子どもたちは、解散の合図とともに、思い思いの方角に散りましたが、最も人気を集めたのは、田んぼがある一画でした。

それぞれ持参の網を、水路に突っこみました。「あ、オタマジャクシが釣れた」「ぼくはザリガニ」。網と釣竿を区別しないようです。男子の1人は体長10センチを超えるドジョウを「釣り」ました。

プラスチック容器に水を入れ、「獲物」をそっと入れます。アメンボを6匹も、容器に収容した子もいました。

## ザリガニつかみに挑戦

大きな赤いザリガニがつかまりました。体調10センチぐらい。ハサミをかざして、威嚇します。付き添いの大人に、後ろから胴をつかむ持ち方を教わり、女子もかわるがわる持ってみました。男子が1人、指先をはさまれ、血が滲みましたが、テープ絆創膏を貼る程度で済みました。

クワの木に登って実を食べたり、セリに産卵するキアゲハを虫籠に入れたり、田んぼの水面に繰り返し産卵するムギワラトンボや、泥をくわえに舞い降りるツバメに注目したり、野生の生き物との触れ合いは、さまざまでした。

正午すぎ、入り口広場に集合して、お弁当。帰り際、捕まえた動物たちを元の場所に放しました。

